

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	海邦電子ビジネス専門学校
設置者名	真栄城 玄静

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等によって授業科目の単位数又は授業時間	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	経理専攻科 2年課程	夜・通信	363時間	160時間	
	医療専攻科 2年課程	夜・通信	363時間	160時間	
	公務員専攻科 2年課程	夜・通信	317時間	160時間	
	ビジネスワーク科 1年課程	夜・通信	182時間	80時間	
	医療IT専攻科 2年課程	夜・通信			
	OAビジネス科 2年課程	夜・通信			
(備考) 医療IT専攻科、OAビジネス科は、現在募集停止中です。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

URL: http://www.kaiho.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名：
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

学校名	海邦電子ビジネス専門学校
設置者名	真栄城 玄静

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	学校関係者評価委員は、学校運営、学習状況、学科カリキュラム、学修成果、生徒管理、教育質の向上、就職率に関しそれぞれの観点から意見を述べ、指導助言を行うものとする。 ※2020年3月学校関係者評価委員会開催予定。

2. 外部人材である構成委員の一覧表

氏名（職名等）	任期	委嘱理由等
前美さと児童園施設長	2年	ボランティア、インターシップ 施設代表 ○学習状況、ボランティア実習状況
沖縄国際大学教授	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
元沖縄女子短期大学教授	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
元ソーシャルワーク専門学校講師	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
税理士	2年	地域住民代表 ○学校運営状況
卒業生 代表者	2年	卒業生代表 ○学校運営状況
在校生 保護者代表	2年	在学生保護者代表 ○学校運営状況

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	海邦電子ビジネス専門学校
設置者名	真栄城 玄静

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画（シラバス）を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・事業計画（シラバス）の項目は以下のとおりです。</p> <p>開講時期、科目区分、授業形態、学科名、担当講師、単位数、時間数、取得目標資格、授業概要、授業計画、成績評価の方法、使用テキスト及び参考図書、学生へのメッセージ</p>																																											
授業計画の公表方法	URL: http://www.kaiho.ac.jp																																										
<p>2. 学習意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 平素の学習態度 (2) 出席状況 (3) 検定取得状況</p> <p>成績評価は優・良・可・不可の4段階で評価します。</p>																																											
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>本校が導入するGPAの算出式は下記に示すとおりです。</p> <p><1>試験得点に応じて4段階（優：4.0、良：3.0、可：1.0、不可：0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。</p> <p><2>各履修科目のグレード・ポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなります。</p> <p>(例) GPA算出方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>授業科目</th> <th>得点</th> <th>評価</th> <th>単位数</th> <th>GP</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>商業簿記I</td> <td>92点</td> <td>優 (S)</td> <td>2単位</td> <td>4</td> <td>2×4= 8</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>商業簿記演習</td> <td>75点</td> <td>良 (A)</td> <td>1単位</td> <td>3</td> <td>1×3= 3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>工業簿記I</td> <td>64点</td> <td>可 (C)</td> <td>2単位</td> <td>1</td> <td>2×1= 2</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合 計</td> <td>5単位</td> <td colspan="2">13点(GPS)</td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">GPA = 13点 ÷ 5単位 = 2.6</td> </tr> </tbody> </table>		No	授業科目	得点	評価	単位数	GP		1	商業簿記I	92点	優 (S)	2単位	4	2×4= 8	2	商業簿記演習	75点	良 (A)	1単位	3	1×3= 3	3	工業簿記I	64点	可 (C)	2単位	1	2×1= 2	合 計				5単位	13点(GPS)		GPA = 13点 ÷ 5単位 = 2.6						
No	授業科目	得点	評価	単位数	GP																																						
1	商業簿記I	92点	優 (S)	2単位	4	2×4= 8																																					
2	商業簿記演習	75点	良 (A)	1単位	3	1×3= 3																																					
3	工業簿記I	64点	可 (C)	2単位	1	2×1= 2																																					
合 計				5単位	13点(GPS)																																						
GPA = 13点 ÷ 5単位 = 2.6																																											
客観的な指標の算出方法の公表方法	URL: http://www.kaiho.ac.jp																																										

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

卒業要件

○出席時間：1年課程 800時間以上
2年課程 1700時間以上

○各科卒業要件

公務員専攻科（各種公務員試験一次合格者）

医療専攻科（医科医療事務・調剤事務・歯科医療事務・介護事務4科目の合格者）

経理専攻科（日商簿記2級合格者）

卒業の認定に関する
方針の公表方法

URL:<http://www.kaiho.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	海邦電子ビジネス専門学校
設置者名	真栄城 玄静

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	URL:http://www.kaiho.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	URL:http://www.kaiho.ac.jp
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ビジネスワーク科	無	無		
就業 年限	昼夜	全課程の修了に必要なそ う授業時間数又は単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1260 単位時間/単位	780 時間	240 時間	120 時間		120 時間
		単位時間					
生徒総定員数		生徒定員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3人		30人	0人	1人	1人	2人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	経理専攻科	有	無		
就業 年限	昼夜	全課程の修了に必要なそ う授業時間数又は単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,260 単位時間/単位	780 時間	240 時間	120 時間		120 時間
		単位時間					
生徒総定員数		生徒定員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
37人		40人	0人	3人	1人	4人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療専攻科	有	無		
就業 年限	昼夜	全課程の修了に必要なそ う授業時間数又は単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,200 単位時間/単位	660 時間	240 時間	240 時間		60 時間
		単位時間					
生徒総定員数		生徒定員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		50人	0人	2人	1人	3人	

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養	専門課程	公務員専攻科	有	無		
就業 年限	昼夜	全課程の修了に必要なそ う授業時間数又は単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,320 単位時間／単位	924 時間	198 時間	132 時間	66 時間
			単位時間			
生徒総定員数	生徒定員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
47人	60人	0人	3人	1人	4人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60人 （100%）	0人 （0%）	51人 （85%）	9人 （15%）
（主な就職、業界等）経理事務、税理士補助、公認会計士補助、病院事務、時価事務、介護事務、JAおきなわ、沖縄県庁職員、海上保安学校			
（就職指導内容）			
① 就職に対する意識の向上を図る			
方法：キャリアコンサルティングにおいて求職者を取り巻く状況はまだ厳しい状況（若年者の失業率の高さ、離職率の高さ）を告知。その厳しい状況を乗り越えるため技術・資格を身に付け、就職活動を有利に運ぶ術（ITを活用した就職情報の収集や資料作成等）を指導する。			
また簡易の職業興味診断により本人の職業適性を図り、かつ求人票やネット等により業種や職業研究を行い次の仕事のマッチングを図る。			
② 就職指導・相談について			
方法：上記のキャリアコンサルティングをとおして本人の適性を確認し、就職希望アンケートを実施そのアンケートを基に就職担当が希望職種の待遇（給与面や時間帯等）を説明し、ミスマッチが起きないようにさらなるマッチングを図る。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
経理専攻科（商業簿記、工業簿記、建設業簿記、税務会計、電卓、ワード等）			
医療専攻科（医科医療事務、調剤事務、介護事務、歯科事務、医事コンピュータ等）			
公務員専攻科（国家公務員、地方公務員、ワード、エクセル、社会常識マナー等）			
ビジネスワーク科（商業簿記、工業簿記、税務会計、電卓、ワード、エクセル等）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	8人	12%
(中途退学の主な理由) アルバイトによる授業の遅刻、授業料の支払い不能		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席率の向上(95%以上)、アルバイトの許可制、教師の指導力の向上		

② 学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備 整備費	維持費	合計
経理専攻科	100,000	370,000	100,000	100,000	680,000
医療専攻科	100,000	370,000	100,000	100,000	680,000
公務員専攻科	100,000	370,000	100,000	100,000	680,000
ビジネスワーク科	100,000	370,000	100,000	100,000	680,000
修学支援(任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表		
(ホームページアドレス又は刊行物の名称及び入手方法) ホームページアドレス (URL:http://www.kaiho.ac.jp)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>(目的) 海邦電子ビジネス専門学校は、学校関係者評価事業における学校関係者評価委員会の設置や委員の役割等について、必要なことを定めることを目的とする。</p> <p>(役割) 学校関係者評価委員は、学校運営、学習状況、学科カリキュラム、学修成果、生徒管理、教育質の向上、就職率に関しそれぞれの観点から意見を述べ、指導助言を行うものとする。</p> <p>(人数) 学校関係者評価委員の数は7～8人とする。</p> <p>(委嘱) 本校の特質に鑑み、できる限り幅広い分野から学校関係者評価委員に適任と判断される方を人選し、委嘱する。</p> <p>(任期) 学校関係者評価委員の任期は委嘱の日から2年間とし、再任を妨げない。なお、特別の事情がある場合にはその限りではない。</p> <p>(秘密の保持) 学校関係者評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委員の職を退いた後も同様とする。</p> <p>(会議等) 当該年度内において、2回(9月・3月)会議を開催する。また、年間1回を限りとして、授業や学校行事等を適宜視察し、評価や助言に資する機会を設定するものとする。</p> <p>(その他) この要綱に定めるもののほか、学校関係者評価委員会に関して必要な事項等は、時宜に応じて校長が定めるものとする</p> <p>※2020年3月学校関係者評価委員会開催予定。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
前美さと児童園施設長	2年	ボランティア、インターンシップ施設代表 ○学習状況、ボランティア実習状況
沖縄国際大学教授	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
元沖縄女子短期大学教授	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
元ソーシャルワーク専門学校講師	2年	大学教育関係代表 ○学習状況
税理士	2年	地域住民代表 ○学校運営状況
卒業生 代表者	2年	卒業生代表 ○学校運営状況
在校生 保護者代表	2年	在学生保護者代表 ○学校運営状況
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物の名称及び入手方法) ホームページアドレス (URL:http://www.kaiho.ac.jp)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

